



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社

コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮本 忠泰 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,081	55.1	93	—	17	—	△48	—
24年3月期第3四半期	7,788	20.8	△158	—	△192	—	132	370.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △26百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 144百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△5.48	—
24年3月期第3四半期	14.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,101	10,730	55.5
24年3月期	24,735	10,938	43.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,594百万円 24年3月期 10,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	37.3	300	65.2	250	66.4	150	△56.3	16.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期連結会計期間より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	9,674,587株	24年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	755,317株	24年3月期	755,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	8,919,327株	24年3月期3Q	9,137,675株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、減速感が強まり、先行きの不透明な状況で推移しました。米国では雇用や住宅問題に改善の兆しが見られ緩やかな回復基調にありますが、財政の崖を控え樂觀できる状況にはなく、また欧州では財政問題に伴い景気の停滞が長期化の様相を呈しております。一方、中国や新興国においては欧州向け輸出が減速し、経済成長の鈍化が顕在化しました。

日本経済は、震災からの復興需要による下支えはあるものの、エコカー補助金の終息及び海外経済の悪化に伴う輸出の減速等により景気は低迷し、弱含みで推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、緩やかながらも成長基調にあるアジア地域を中心に、高付加価値商品の提案型の営業展開を図り、収益の確保に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高120億81百万円（前年同四半期比55.1%増）、営業利益93百万円（前年同四半期は営業損失1億58百万円）、経常利益17百万円（前年同四半期は経常損失1億92百万円）、四半期純損失48百万円（前年同四半期は四半期純利益1億32百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク関連装置分野では、パソコン、カーナビ等の需要が伸びず設備投資が冷え込む厳しい状況にありましたが、バーニッシャー装置、UVキュア装置及び搬送装置等の拡販に努め、業績は底堅く推移しました。

半導体関連装置分野では、新興国の成長率の鈍化により自動車・家電等に係る半導体の需要が停滞し、設備投資の先送りが生じ、業績は低調に推移しました。

液晶関連装置分野では、前期よりずれ込んだ中型装置に加え、パネルの膜質改善を図るアニール装置の売上が拡大しましたが、装置立上げ費用等の増加により、利益は伸び悩みました。

加熱処理装置分野では、スマートフォン・タブレット端末向け装置の売上は確保しましたが、自動車関係の装置における設備投資が先送りとなり、業績は低調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、再生可能エネルギーへの期待から売上の増加が予想されましたが、欧州においてパネル需要が減退し、さらに廉価パネルの過剰生産により需給バランスが崩れ、設備投資が抑制され、業績は低迷しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は113億7百万円（前年同四半期比61.8%増）となり、営業利益は4億3百万円（前年同四半期比200.0%増）となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連その他事業では、クリーニング需要が減少し業界自体の縮小傾向が進むなか、国内外の営業強化及びコスト削減を図り、収益の確保に努めました。

これらの結果、当セグメントの売上高は7億73百万円（前年同四半期比3.2%減）となり、営業利益は53百万円（前年同四半期比24.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は145億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億77百万円減少しました。主な要因は、仕掛品の減少34億87百万円、受取手形及び売掛金の減少14億77百万円、現金及び預金の減少4億39百万円であります。固定資産は45億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。主な要因は、有形固定資産の増加54百万円であり、無形固定資産の減少12百万円であります。

その結果、総資産は191億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億33百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は53億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億29百万円減少しました。主な要因は、前受金の減少24億6百万円、支払手形及び買掛金の減少19億67百万円、短期借入金の減少2億58百万円であります。固定負債は29億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億96百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少7億9百万円、社債の減少91百万円であります。

その結果、負債は83億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億25百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は107億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少2億27百万円であります。

この結果、自己資本比率は55.5%（前連結会計年度末は43.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、平成24年11月9日に公表いたしました通期連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,733,811	8,294,494
受取手形及び売掛金	4,335,951	2,858,493
商品及び製品	114,186	157,252
仕掛品	6,106,962	2,619,220
原材料及び貯蔵品	371,756	321,151
繰延税金資産	279,171	248,998
その他	327,768	88,568
貸倒引当金	△5,219	△818
流動資産合計	20,264,388	14,587,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,254,100	2,260,540
減価償却累計額	△1,629,630	△1,671,614
建物及び構築物 (純額)	624,469	588,925
機械装置及び運搬具	212,540	224,462
減価償却累計額	△187,685	△193,886
機械装置及び運搬具 (純額)	24,855	30,575
工具、器具及び備品	1,319,548	1,518,708
減価償却累計額	△1,092,049	△1,193,342
工具、器具及び備品 (純額)	227,499	325,365
土地	2,374,622	2,374,622
リース資産	54,681	60,150
減価償却累計額	△31,372	△39,641
リース資産 (純額)	23,308	20,508
建設仮勘定	601,753	591,489
有形固定資産合計	3,876,509	3,931,488
無形固定資産		
のれん	57,220	45,541
特許権	3,000	—
ソフトウェア	48,626	51,916
リース資産	3,990	3,226
電話加入権	13,316	13,316
無形固定資産合計	126,154	114,000
投資その他の資産		
投資有価証券	143,222	136,424
長期貸付金	58	297
繰延税金資産	212,333	201,570
長期滞留債権等	68,209	68,395
その他	123,064	140,966
貸倒引当金	△78,209	△78,673
投資その他の資産合計	468,679	468,979
固定資産合計	4,471,342	4,514,468
資産合計	24,735,730	19,101,828

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,607,967	3,640,695
短期借入金	1,259,750	1,001,318
1年内償還予定の社債	140,880	108,510
リース債務	12,249	13,253
未払法人税等	20,774	6,348
賞与引当金	162,341	69,053
製品保証引当金	50,498	51,811
損害補償損失引当金	—	23,783
未払費用	248,425	200,512
前受金	2,442,522	36,175
その他	69,731	233,859
流動負債合計	10,015,139	5,385,321
固定負債		
社債	1,106,510	1,015,000
長期借入金	1,900,371	1,191,290
リース債務	16,400	11,659
繰延税金負債	65,796	65,788
退職給付引当金	637,048	663,123
役員退職慰労引当金	55,655	38,855
固定負債合計	3,781,782	2,985,717
負債合計	13,796,921	8,371,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	5,287,754	5,060,471
自己株式	△646,148	△646,176
株主資本合計	10,980,563	10,753,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,262	5,170
為替換算調整勘定	△204,634	△164,330
その他の包括利益累計額合計	△200,372	△159,159
少数株主持分	158,617	136,697
純資産合計	10,938,808	10,730,790
負債純資産合計	24,735,730	19,101,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,788,858	12,081,184
売上原価	6,333,938	10,368,662
売上総利益	1,454,920	1,712,522
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	614,701	632,176
賞与引当金繰入額	25,623	22,835
福利厚生費	27,104	25,336
賃借料	55,675	56,611
業務委託費	52,577	42,833
研究開発費	178,542	212,249
減価償却費	100,467	116,033
その他	559,108	510,560
販売費及び一般管理費合計	1,613,801	1,618,635
営業利益又は営業損失(△)	△158,880	93,886
営業外収益		
受取利息	3,836	3,856
受取配当金	1,934	2,385
受取賃貸料	7,920	9,053
受取保険料	347	3,207
補助金収入	1,300	981
その他	5,579	5,088
営業外収益合計	20,917	24,574
営業外費用		
支払利息	32,533	28,689
為替差損	15,335	65,703
ファクタリング料	45	152
持分法による投資損失	654	776
その他	6,447	5,611
営業外費用合計	55,017	100,934
経常利益又は経常損失(△)	△192,980	17,527
特別利益		
負ののれん発生益	255,207	70
特別利益合計	255,207	70
特別損失		
固定資産除売却損	1,816	6,303
損害補償損失引当金繰入額	—	23,783
段階取得に係る差損	49,513	—
特別損失合計	51,330	30,086
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	10,896	△12,489
法人税、住民税及び事業税	8,627	15,129
法人税等調整額	△198,131	40,523
法人税等合計	△189,503	55,652
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	200,400	△68,141
少数株主利益又は少数株主損失(△)	67,502	△19,245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	132,897	△48,896

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	200,400	△68,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,268	1,145
為替換算調整勘定	△45,822	40,304
その他の包括利益合計	△56,091	41,450
四半期包括利益	144,308	△26,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,633	△7,683
少数株主に係る四半期包括利益	66,674	△19,007

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,990,065	798,792	7,788,858	—	7,788,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,990,065	798,792	7,788,858	—	7,788,858
セグメント利益	134,674	70,060	204,734	△363,615	△158,880

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,615千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	11,307,996	773,188	12,081,184	—	12,081,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,307,996	773,188	12,081,184	—	12,081,184
セグメント利益	403,970	53,181	457,152	△363,265	93,886

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,265千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。